

年長児になると、「小学校に向けて今のうちに何ができるようになっていたらいいですか？」というご相談をいただくことが増えてきます。ひらがなの読み書き、計算、45分座っていられることなど「学校らしい力」が気になる保護者の方も多いのではないでしょうか。

しかし、小学校生活の土台となるのは、知識や技能だけではありません。幼児期に何よりも大切にしたいのは、「自分は大丈夫」と思える気持ち（自己肯定感）、そして「やってみよう」と一歩踏み出せる心の力です。

### ●幼児期に育てたい力

園での生活や遊びの中で、子どもたちは日々たくさんの経験を積み重ねています。

- ★自分の思いを言葉や表情で伝えようとする
- ★友達とぶつかり合いながらも関係を築いていく
- ★うまくいかなくても、もう一度挑戦しようとする
- ★困ったときに「助けて」と言える



これらはすべて、小学校生活の中で生きてくる大切な力です。

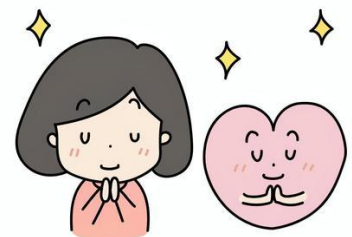
特に「SOSを出せること」はとても重要です。わからないとき、困ったときにそのまま我慢するのではなく、周囲に伝えることができる力は、安心して学び続けるための基盤になります。

### ●園と小学校はつながっています！！

「園と小学校では全く環境が違うのでは？」と心配になることもあるかもしれませんが。しかし、現在は園と小学校が連携し、子どもの姿や育ちを丁寧に引き継ぐ取り組みが進められています。園で大切にしてきた遊びや生活経験は、決して途切れるものではありません。子どもたちは、これまで積み重ねてきた経験を力に、新しい環境へと歩み出していきます。就学までに「完璧」にできるようにしておく必要はありません。

大切なのは、「できる・できない」よりも・・・

- ✓ 安心して自分を出せること
- ✓ 自分なりに考えてみようとする
- ✓ 周囲の人と関わろうとする



こうした心の土台が育っていることです。

### 私たちが大切にしていること

園では、遊びを通して子どもたちの主体性を育みながら、一人ひとりの思いやペースを尊重しています。「できるようにさせる」ことを目標にするのではなく、「やってみよう」と思える気持ちを大切に、「できた！」という小さな成功体験を積み重ねていくことを心がけています。自信を持ってランドセルを背負い、「大丈夫！」と一歩踏み出せるように、これからも、子どもたちの今の育ちを大切にしながら、次のステージへと繋がる保育を丁寧に積み重ねていきたいと思っております。